

第13回 ゲノム病理標準化講習会プログラム

期間:2024年7月1日(月)10:00 —2024年7月31日(水)23:59

オンデマンド講習会

1. 本講習の目的: ゲノム研究基盤整備における病理の役割 (冒頭挨拶にかえて) (20分) 金井弥栄

2. 講義 (○はテキスト「ゲノム研究用・診療用病理組織検体取扱い規程(羊土社刊)」使用 / ●はハンドアウト使用)

 - 1)
○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第1部の解説:研究用病理組織検体の適切な採取部位」(30分)
九州大学医学部医学研究院 形態機能病理学 小田義直
 - 2)
○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程「第2部の解説:凍結組織検体採取・保管・移送方法」(60分)
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
 - 3)
○ ゲノム研究用病理組織検体取扱い規程
「第3部の解説:ホルマリン固定パラフィン包埋標本の適切な作製・保管方法」(40分)
慶應義塾大学医学部 病理学教室 金井弥栄
 - 4)
● 病院病理診断部における研究用病理組織検体収集・管理の実際 (30分)
九州がんセンター 病理診断科 田口健一
 - 5)
● 病理組織検体を収納する研究のためのバイオバンクの構築 (30分)
神奈川県立がんセンター臨床研究所 宮城洋平
 - 6)
● 病理組織検体を用いた分子病理学的解析手技の実際 (30分)
東京大学大学院医学系研究科衛生学分野 加藤洋人
 - 7)
● 病理組織検体を用いたがんエピゲノム・多層オミックス研究の実際 (30分)
慶應義塾大学医学部病理学教室 新井恵吏
 - 8)
● 認定臨床検査技師の役割 (30分)
一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 滝野 寿

*受講修了証は、講義の聴講ならびに小テストの完了をもって発行されます。必ず会期中に各自でダウンロードし、印刷するようにしてください。会期後のダウンロードはできません。